



# カリフォルニアの風

サンフランシスコ日本語補習校 令和元年8月号

## 夏休み明けの一步

いよいよ夏休みが明けて、新しい学習がスタートします。日本の「サザエさん」というアニメでは、カツオ君の夏休みの宿題をお父さんの波平さんやおじさんのマスオさんが頑張って手伝っていることと思います。そんな渦中の方々にとっては大変なことだと思いますが、これも子どもをもつ家庭の夏の風物詩の一つのような気がします。バイエリアの学校では新しい学年が始まり、補習校の児童・生徒の皆さんも新しい教科書を手にして、これから始まる学習に期待や不安を抱いているのではないのでしょうか。補習校では集中学習から継続した授業を行い、9月から前期のまとめに入ります。

私はバイエリアに来て、初めての夏を過ごしました。この7月・8月の天気と天候の様子は驚きの連続でした。私の家はサンフランシスコのサンセットにあります。朝、太陽が全く見えない曇り空でも、MUNIに乗ってダウンタウンのオフィスに行くとパッと晴れていたり、サンノゼで一日中快晴の空の下にいてサンフランシスコに戻ると霧で真っ暗だったりしたことが頻繁にありました。これは、寒流のカリフォルニア海流の上を吹く湿った西風と内陸の暖気が混ざり合うことで発生する霧によるものだそうです。高速道路からサンフランシスコ上空の雲の様子を眺めると、理科の教科書にでてくるような雲のでき方に感動すらおぼえます。新しい土地、新しい環境、新しい人間関係、新しい学びは、きっと子どもたちに感動を与えてくれるのではないのでしょうか。

学校で生活していると、勉強という言葉をよく耳にします。そして、子どもから「勉強って何ですか」と、尋ねられたこともあります。勉強とは、「物事に励むこと、努力すること」と、辞書に書いてありますよと答えたことがあります。もともとの言葉の意味は、「嫌なことでも

強いて、勉めること」から来ているそうです。きっと、

お子さんも教科によって好き・嫌いがあったり、得意・不得意があったりすると思います。そんな時でも勉強は、「嫌なことでも強いて、勉めることですよ。」と、教えてやってください。将来に活躍する子どもたちは、これから先にどんな力が必要になるかわかりません。嫌なことでも強いて勉めることができ、それを続けられる人は精神的にも大きく成長していく人ですと教えてやってください。

現地校の授業も補習校の授業もスタートです。人との出会い、教材との出会いを大切にしながら学びを築いていきたいと思います。

